



取り付けする前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
不正な取り付け、改造、仕様変更をしないでください。
仕様については予告なく変更する場合があります。

**警告**

要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示しています。

**注意**

要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示しています。

品名 PnP センサー H4

適合 PCX125(JF56)/150(KF18)

品番 M1006

本製品の保証期間は6ヶ月です。お買い上げ日のわかる領収書もしくは納品書を本書と一緒に大切に保管してください。保証期間内に製造上の原因による品質不良がありました場合は、お買い上げの販売店様までご連絡ください。不良内容を確認のうえ、製品を修理もしくは交換させていただきます。ただし、本製品の修理・交換以外のいかなる事柄（物的損害、人的損害）に対して、弊社は賠償の責任を一切負いかねます。あらかじめご了承ください。

**NOTE****約 79°C(174°F) のまま変化しない**

温度センサーへの配線が接続できていない（温度の信号を読み込めない）場合、構造上の都合により約 79°Cを表示します。接続を確認してください。

NOTE**短押し**

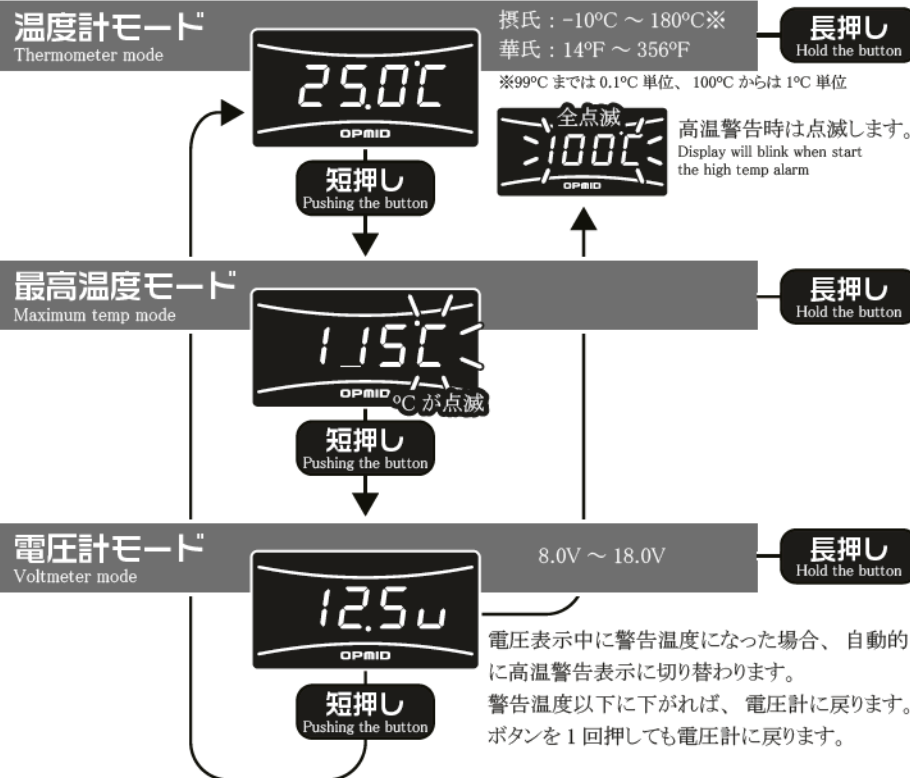
Pushing the button

スイッチのボタンを短く（3 秒以下）押すことを表します。

長押し

Hold the button

スイッチのボタンを長く（3 秒以上）押す事を表します。



ボタン短押しで1度ずつ増加、長押しで自動増加。
5秒間ボタン操作が無ければ、保存します。

Will increase when push the button.
If not push the button for 5 seconds, will save.

ボタン長押しでリセット
Erased when hold the button

NOTE

80°C ~ 90°Cあたりでサーモスタットが開閉します。
開閉によって水温も上下します。

スタートアップ電圧計の秒数設定
Setting of the voltage display seconds of startup



5秒 ~ 60秒、OFF
(OFFは60秒の次に表示)

ボタン短押しで5秒ずつ増加、長押しで自動増加。
5秒間ボタン操作が無ければ、保存します。
Will increase when push the button.
If not push the button for 5 seconds, will save.

短押し ボタンを短く（3 秒以下）押すことを表します。
Pushing the button

長押し ボタンを長く（3 秒以上）押す事を表します。
Hold the button

摂氏 / 華氏切り替え
Switching Centigrade/ Fahrenheit

摂氏温度計

Centigrade thermometer

華氏温度計

Fahrenheit thermometer

※華氏は主にアメリカで使用されている温度単位です。

長押し & **キー ON**
Hold the button & Key switch ON

ボタンを押しながら、キーをONにする。
Hold the button and turn on the key switch



切り替え
Switching
短押し
Pushing the button



5秒間ボタン操作が無ければ、設定完了
If not push the button for 5 seconds, setting complete



KIT CONTENTS

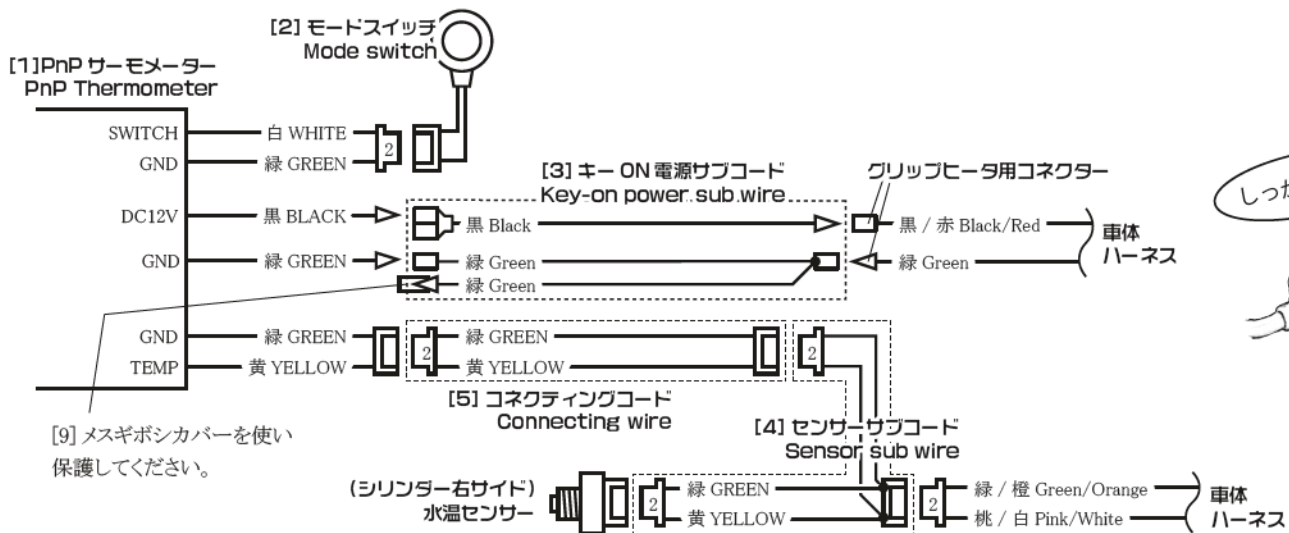
M1006

1	PnPサーモメーター PnP Thermometer	x1
2	モードスイッチ Mode switch (600mm)	x1
3	キー ON 電源サブコード Key-on power sub wire	x1
4	センサーサブコード Sensor sub wire	x1
5	コネクティングコード Connecting wire (1000mm)	x1
6	両面テープ W-sided tape	x2
7	φ22 ハンドルパイプマウント 7/8" Handlebar mount	x1
8	インシュロック Cable ties	x6
9	メスギボシカバー Female terminal cover	x1

[2] モードスイッチはコードの届く範囲でお好みの場所に貼り付けてください。
 [6] 両面テープは貼り付け面に応じて重ねたり、カットして長さを調整してください。
 [7] ハンドルパイプマウントはネジを外すと、クランプ部を開いてハンドルを通すことができます（グリップなどを外す必要はありません）。

PnP THERMOMETER H4 配線図 WIRING DIAGRAM

M1006



キー ON 電源の接続 (図 1)

[3] キー ON 電源サブコードをフロントカバー内にあるグリップヒーターコネクタに接続します。

[3] キー ON 電源サブコードの黒コードを [1] メーターの黒コードに、
 [3] キー ON 電源サブコードの緑コードを [1] メーターの緑コードにそれぞれ接続します。

<アドバイス>

グリップヒーターコネクタはメーター下部のハーネスにテープでくくり付けられています（オプションカプラの隣）。

[3] キー ON 電源サブコードには他のアクセサリパーツ用の接続端子を余らせています（グリップヒーターコネクタ）。



図1 グリップヒーターコネクタから電源を取ります。

水温センサーの分岐接続 (図 2)

[4] センサーサブコードを純正水温センサーに割り込ませます。

[5] コネクティングコードを [4] センサーサブコードに接続します。

[5] コネクティングコードをフロントカウル内まで配線します。

[5] コネクティングコードを [1] メーターに接続します。

<アドバイス>

水温センサーはシリンダーヘッド右サイドのラジエーターホースで隠れている位置にあります。

スクーターはエンジンが上下に動きます。[5] コネクティングコードをフロントカウル内まで可能な限り車体ハーネス（純正水温センサーハーネスおよびメインハーネス）に沿わせることで適度の「たるみ」を持たせられます。付属の [8] インシュロックを使い、しっかり固定しながら沿わせてください。断線の原因になりますので、引っ張り気味にならないようにご注意ください。

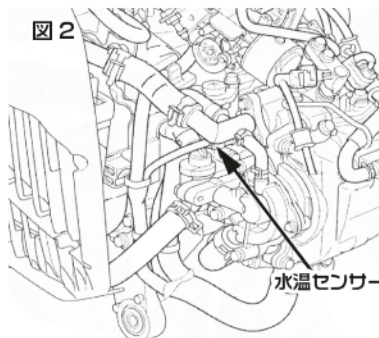


図2 純正水温センサーから信号を取り出します。

⚠ 注意

ステアリングを動かした時にコードを挟んでいないか？
 コード無理な力がかかっているか？
 コネクタと端子は確実に接続できているか？
 よく再確認してから、外装を取り付けてください。